

2021年度年末手当妥結！ 基準内賃金×1.67カ月！

全国の青年部員のみなさま 年末手当の取り組みお疲れさまでした。

JR貨物労組は本日2021年度年末手当の最終交渉を行ない、「基準内賃金×1.67カ月」で妥結しました。全国の青年部員がコロナ感染のリスクや要員不足の中『指定公共機関』として列車を止めないよう、昼夜を問わず最先頭で安全・安定輸送を担ってきたことを会社に訴えてきました。

貨物労組が要求していた「2.9カ月」とは程遠く、到底納得できるものではありませんが、第3回交渉の「昨年の年末手当を上回れるようにしたい」という会社のあいまいな考え方から「1.67カ月」まで押し上げたのはまぎれもなく、全国の青年部員がコロナ禍の中でも職場からの闘いを最後まで展開してきた成果です！

経営陣よ 職場の実態を見ろ！！

交渉の中で、会社経営陣が職場の実態を知らないという、職場で働く青年部員よりも数字しか見ない会社姿勢が改めて鮮明となりました
(怒)

ガソリンや灯油、小麦価格の高騰等、青年部員にとっては可処分所得が減り生活が苦しいなか、計画未達の責任を青年部員に押し付ける気か！職場は要員が不足し、特休買い上げ、超勤等までして、列車を止めないと奮闘している青年部員の期待を裏切るものである！これでは青年部員の緊張の糸は切れて、安定した鉄道貨物輸送を維持するのは困難になる！青年部員はこの低額回答を黙っていない！

職場の努力を見ない経営陣！私たちは、絶対に許さない！
年末手当の成果と課題を明確にし
2022 JR総連春闘を闘い抜こう！！